

## 志賀原子力発電所 2号機 高感度オフガスモニタの欠測について

平成21年5月22日  
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所 2号機（改良型沸騰水型、定格出力120万6千キロワット）は、定格出力で運転中のところ、本日（5月22日）8時30分、気体廃棄物処理系<sup>1</sup>の入口側に設置された放射線レベルを補助的に監視している高感度オフガスモニタ<sup>2</sup>の値が故障により低下し、9時21分、指示値が出ない状態となりました。

この高感度オフガスモニタは、燃料漏えいが拡大しないことの監視に使用しており、これまでは燃料漏えいが発生する前の10倍程度の値で安定していました。

気体廃棄物処理系の放射能監視および燃料漏えいの拡大監視については、空気抽出器排ガスモニタ、希ガスホールドアップ塔排ガスモニタおよび排気筒モニタ<sup>3</sup>で適切に実施しています。これらのモニタの指示値に変動はなく、外部への放射能の影響はありません。

さらに念のため、燃料漏えいの監視については、気体廃棄物処理系の排ガスの手分析による放射能濃度の確認の回数を1回/日から3回/日に増やして監視を強化いたします。

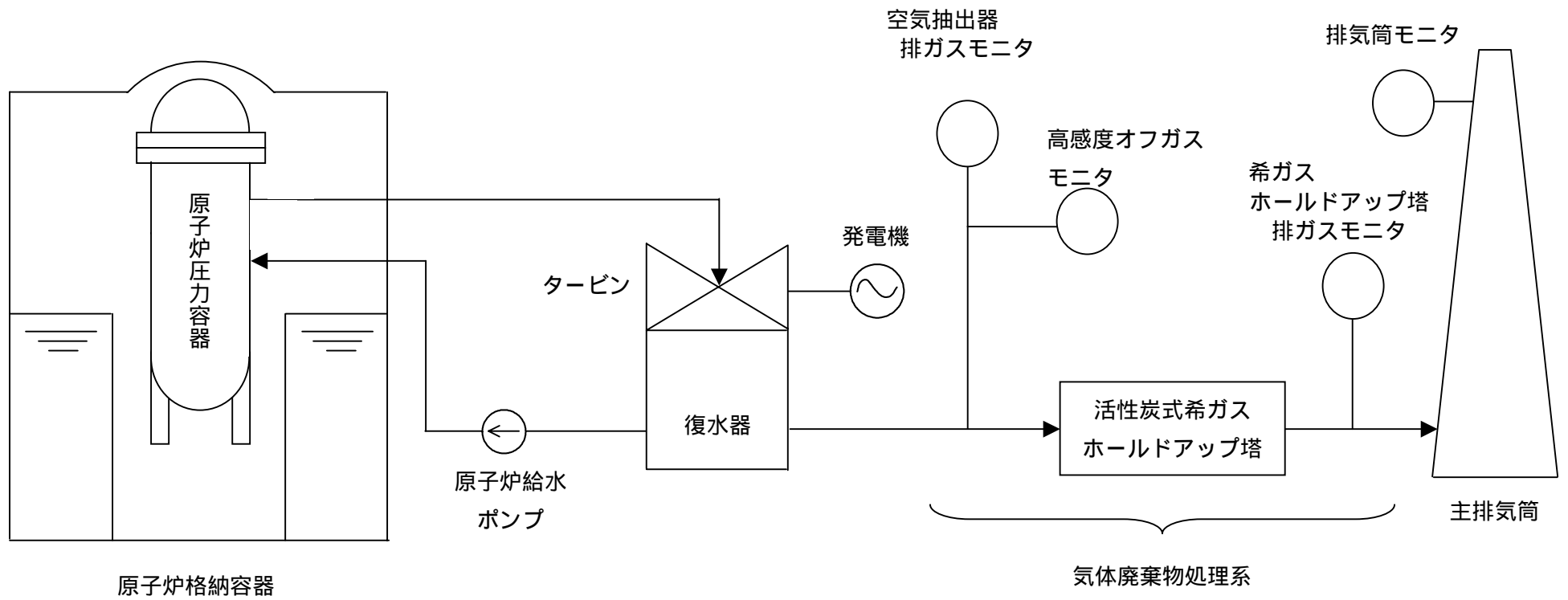
今後、故障箇所の特特定と高感度オフガスモニタの早期復旧に努めてまいります。

本件は、法令および石川県、志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に該当するものではありません。

以上

### 添付資料 志賀 2号機 系統概略図

- 1 気体廃棄物処理系  
復水器内の真空維持のため、復水器内で凝縮できなかった放射性ガスを抽出して減衰処理し、排気筒から放出するための系統。
- 2 高感度オフガスモニタ  
燃料棒からの微小漏えいを早期に発見する目的で補助的に設置されたもの（現在、微小漏えい燃料の拡大防止の常時監視として使用）。通常の気体廃棄物処理系の監視は、別に設置された空気抽出器排ガスモニタおよび希ガスホールドアップ塔排ガスモニタにより監視している。
- 3 空気抽出器排ガスモニタ、希ガスホールドアップ塔排ガスモニタおよび排気筒モニタ  
気体廃棄物処理系内や環境へ放出される排気中の放射線を測定する装置。



**志賀2号機 系統概略図**